

新潟県交通安全対策連絡協議会員

＜官公庁＞

- ・新潟県
- ・新潟県警察本部
- ・新潟県教育委員会
- ・国土交通省北陸地方整備局
- ・国土交通省北陸信越運輸局
- ・国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局
- ・厚生労働省新潟労働局
- ・新潟市
- ・新潟県市長会
- ・新潟県町村会
- ・新潟県市町村総合事務組合

＜教育関係団体＞

- ・新潟県小学校長会
- ・新潟県中学校長会
- ・新潟県高等学校長協会
- ・新潟県小中学校PTA連合会
- ・新潟県高等学校PTA連合会
- ・新潟県専門学校協会
- ・新潟県私立中学高等学校協会
- ・新潟県幼稚園・こども園連盟
- ・新潟県私立幼稚園・認定こども園協会
- ・新潟県保育連盟

＜交通・運輸関係団体＞

- ・東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
- ・東日本高速道路株式会社新潟支社
- ・公益財団法人新潟県交通安全協会
- ・一般社団法人新潟県安全運転管理者協会
- ・公益社団法人新潟県トラック協会
- ・公益社団法人新潟県バス協会
- ・一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会
- ・一般社団法人新潟県自動車整備振興会
- ・新潟県自動車販売店協会
- ・一般財団法人新潟県自動車標板協会
- ・一般社団法人新潟県指定自動車教習所協会
- ・一般財団法人新潟県自動車練習所
- ・軽自動車検査協会新潟主管事務所
- ・陸上貨物運送事業労働災害防止協会新潟県支部
- ・独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所
- ・新潟県二輪車普及安全協会
- ・自動車安全運転センター新潟県事務所
- ・一般社団法人新潟県交通安全施設業協会
- ・新潟県高速道路交通安全協議会
- ・新潟市個人タクシー事業協同組合
- ・一般社団法人日本自動車連盟新潟支部
- ・新潟県自転車・軽自動車商協同組合
- ・新潟県レンタカー協会
- ・新潟県ハイヤー交通共済協同組合

- ・新潟県自動車車体整備協同組合
- ・赤帽新潟県軽自動車運送協同組合
- ・新潟県オートバイ事業協同組合
- ・新潟県軽自動車協会
- ・日本通運株式会社新潟支店
- ・新潟県中古自動車販売協会
- ・一般社団法人新潟県運転代行協会

＜報道関係＞

- ・株式会社新潟日報社
- ・朝日新聞社新潟総局
- ・毎日新聞社新潟支局
- ・読売新聞社新潟支局
- ・産経新聞社新潟支局
- ・共同通信社新潟支局
- ・時事通信社新潟支局
- ・日本経済新聞社新潟支局
- ・NHK新潟放送局
- ・株式会社新潟放送
- ・株式会社NST新潟総合テレビ
- ・株式会社テレビ新潟放送網
- ・株式会社新潟テレビ21
- ・株式会社柏崎コミュニティ放送
- ・長岡移動電話システム株式会社
- ・株式会社エフエムラジオ新潟
- ・燕三条エフエム放送株式会社
- ・株式会社けんと放送
- ・株式会社エフエム新潟
- ・エフエム角田山コミュニティ放送株式会社
- ・株式会社エフエム雪国
- ・株式会社エフエムしばた
- ・株式会社エフエムとおかまち
- ・エフエム魚沼株式会社

＜青少年・福祉関係団体＞

- ・社会福祉法人新潟県社会福祉協議会
- ・日本ボーイスカウト新潟連盟
- ・新潟県青少年健全育成県民会議
- ・一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会

＜その他関係団体＞

- ・新潟県石油業協同組合
- ・日本郵便株式会社信越支社
- ・一般社団法人新潟県商工会議所連合会
- ・新潟県商工会連合会
- ・新潟県中小企業団体中央会
- ・一般社団法人新潟県銀行協会
- ・全国交通運輸労働組合総連合新潟県支部
- ・一般社団法人新潟県農業会議

- ・新潟県農業機械商業協同組合
 - ・新潟県農業共済組合
 - ・新潟県農業協同組合中央会
 - ・全国共済農業協同組合連合会新潟県本部
 - ・全国農業協同組合連合会新潟県本部
 - ・新潟県信用農業協同組合連合会
 - ・新潟県厚生農業協同組合連合会
 - ・新潟県酪農業協同組合連合会
 - ・東北電力ネットワーク株式会社新潟支社
 - ・新潟県酒造組合
 - ・新潟県卸酒販組合
 - ・新潟県小売酒販組合連合会
 - ・新潟県森林組合連合会
 - ・新潟県漁業協同組合連合会
 - ・公益財団法人新潟県生活衛生営業指導センター
 - ・新潟県すし商生活衛生同業組合
 - ・新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合
 - ・新潟県料理生活衛生同業組合
 - ・新潟県社交飲食業生活衛生同業組合
 - ・一般財団法人新潟県老人クラブ連合会
 - ・公益財団法人にいがた産業創造機構
 - ・新潟県医師会
 - ・公益社団法人新潟県薬剤師会
 - ・一般社団法人新潟県歯科医師会
 - ・公益社団法人新潟県看護協会
 - ・新潟県土地改良事業団体連合会
 - ・一般社団法人新潟県建設専門工事業団体連合会
 - ・一般社団法人新潟県空調衛生工事業協会
 - ・一般社団法人新潟県LPガス協会
 - ・一般社団法人新潟県解体工事業協会
 - ・一般社団法人新潟県産業資源循環協会
 - ・新潟県住宅供給公社
 - ・一般社団法人新潟県建設業協会
 - ・一般社団法人新潟県砂利砕石協会
 - ・新潟県生コンクリート工業組合
 - ・新潟県電気工事工業組合
 - ・一般社団法人日本建設業連合会北陸支部
 - ・一般社団法人新潟県設備設計事務所協会
 - ・一般社団法人新潟県電設業協会
 - ・一般社団法人新潟県高圧ガス保安協会
 - ・公益社団法人新潟県宅地建物取引業協会
 - ・新潟県信用組合協会
 - ・一般社団法人新潟県警備業協会
 - ・新潟県信用金庫協会
 - ・日本通信株式会社
 - ・新潟県生活協同組合連合会
- （令和6年4月1日現在
134推進機関・団体、順不同）

令和6年

夏の交通事故防止運動

新潟県実施要綱

1 実施期間

7月22日(月)～7月31日(水)

2 目的

この運動は、夏休みに入るこの時期に、こどもたちや若者の開放感から起こる事故や、夏のレジャーによる疲労運転等から起こる事故が懸念されることから、「事故を起こさない」「事故に遭わない」ために、広く県民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

3 スローガン

『 さわやかな 気持ちでゆずる 夏の道 』

4 運動の重点

① 横断歩行者の交通事故防止

～渡るよサインの活用～

② 疲労運転の防止

③ 飲酒運転の根絶

5 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、この実施要綱に基づき、それぞれの実情に即した具体的な実施計画を策定するとともに、積極的な広報活動などを通じて、すべての県民に周知を図ることにより、この運動への参加意識を高め、幅広い県民運動として展開します。



新潟県交通安全マスコット
ルルちゃん

自転車ヘルメット着用促進 県民キャンペーン実施中！

新潟県では、令和6年4月1日から自転車ヘルメット着用促進に向けた、県民キャンペーンを実施しています。

警察庁資料（令和元年から令和5年合計）によると、ヘルメット非着用で自転車事故により亡くなった人の約6割は頭部に致命傷を負っていること、また、ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約1.9倍も高くなっていることから、自転車事故による被害を軽減するためには、ヘルメットの着用により頭部を守ることが大変重要です。

1件でも多くの悲惨な交通事故を減らすため、自転車利用者は自転車ヘルメットを着用しましょう。



新潟県交通安全対策連絡協議会

重点① 横断歩行者の交通事故防止～渡るよサインの活用～

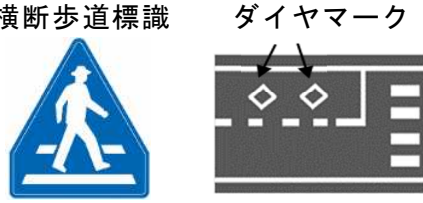
横断歩道では歩行者が最優先です！

- 本年5月末時点で、歩行中に事故で亡くなられた方は13人で、うち7人は道路横断中でした。歩行者事故での負傷者は216人となり、うち横断歩道横断中が103人と約半数近くを占め、最も多くなっています。（負傷者数は速報値）



- ドライバーは、横断歩道を渡っている、または渡ろうとする歩行者がいた場合、一時停止をしなければなりません。また、横断する歩行者がいないことが明らかな場合のほかは、横断歩道の手前で停止できるような速度で運転しなければなりません。これらを守らなかった場合は、横断歩行者等妨害等違反になります。（違反時の反則金の一例 普通車9,000円、違反点数は2点）

- ドライバーは横断歩道の標識やダイヤモンドがある場所では、その先にある横断歩道を渡っている人、渡ろうとしている人がいないかしっかりと確認しましょう。



「渡るよサイン」を活用しましょう！

「渡るよサイン」とは、歩行者がドライバーに横断意思を伝える方法です。歩行者は、「手をあげる」「胸やお腹の前に手をかざす」「運転者に目で合図を送る」等様々な方法で、ドライバーに横断意思を伝えましょう。

渡るよ！

重点② 疲労運転の防止

夏場の運転はこまめに休憩を！

- 令和5年中の交通事故死者数は55人（前年比－6）のうち、月別では7月が7人（前年比＋1）と、1年間で最も多く交通事故が発生しています。
- 夏場は、暑い屋外での活動の他にも、熱帯夜で十分な睡眠がとれない場合や、屋外と屋内との気温差などで、自分でも気がつかないうちに疲労が蓄積し、運転に必要な集中力や注意力を維持できず、漫然運転や居眠り運転につながります。夏場の交通事故を防止するためには、ご自身の体調を考えて、運転をしないことも大切です。
- 「漫然運転」とは、集中力や注意力が低下した状態で運転することを指します。漫然運転は、目の前の危険に対し判断、操作が遅れる大変危険な運転です。
- 車を運転する前には体調を万全にし、無理のない運転計画を立てるとともに、運転中は疲れを感じる前に、こまめに休憩をとりましょう！



重点③ 飲酒運転の根絶

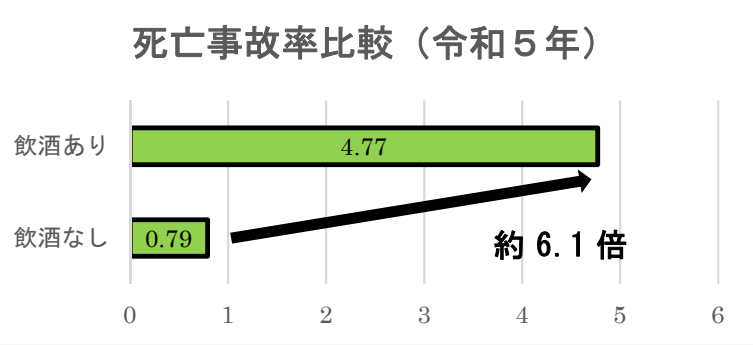
飲酒運転は重大な犯罪です！

- 令和5年中の飲酒運転による交通事故死者数は、統計を開始した昭和35年以降初めて0人となりましたが、飲酒運転による交通事故は、いまだに37件発生しています。また、本年5月末現在の飲酒運転による交通事故発生件数は15件（前年比＋5）で、昨年同月比より増加しています。（5月末時点の発生件数は速報値）



飲酒運転の死亡事故率 約6.1倍

- 全国の飲酒の有無別による交通事故の死亡事故率を見ると、飲酒運転による死亡事故率は、飲酒なしの場合と比べて約6.1倍も高く、飲酒運転が極めて危険性が高い悪質な運転行為であることが分かります。
- 二日酔いも飲酒運転になります。アルコールは体内から簡単に抜けないことを認識し、深酒をした翌日は公共交通機関を利用するなど、車の運転を控えましょう。



止まって！

取組重点期間 7/22(月)～31(水)

通年運動 横断歩道キャンペーン

- 本年5月末現在の歩行者事故のうち横断歩道横断中の事故発生状況は、昨年に比べ、死者数、発生件数、負傷者数ともに減少しています。（死者数以外は速報値）
- 令和5年7月中の横断歩道横断中の死者は0人でしたが、負傷者数は12人（前年比＋2人）でした。負傷者数のうち、中学生以下のこどもが4人（前年比＋3人）、65歳以上の高齢者が4人（前年比±0人）と、全体の7割近くを占めました。
- 夏場は暑い日が続きますが、こどもや高齢者への保護意識を持った、思いやりのある運転を心掛けましょう。

